

2025 年 8 月 14 日

各 位

会社名 株式会社ドラフト
代表者名 代表取締役 荒浪 昌彦
(コード番号 5070 東証グロース)
問合せ先 執行役員 吉野 竜大
(TEL 03-5412-1001)

2Q業績予想と実績の差異及び通期業績予想の修正

2025 年 2 月 14 日に公表した 2025 年 12 月期中間連結期間（2025 年 1 月 1 日～2025 年 6 月 30 日）の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025 年 12 月期中間連結期間の連結業績予想値と実績値との差異
(2025 年 1 月 1 日～2025 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	百万円 4,600	百万円 △260	百万円 △285	百万円 △296	円 銭 △29.47
実績値 (B)	3,174	△707	△713	△491	△48.94
増減額 (B-A)	△1,425	△447	△428	△195	
増減率 (%)	△31.0%	－%	－%	－%	
(ご参考) 前期実績 (2024 年 12 月期連結中間期間)	6,685	579	559	342	34.15

2. 差異の理由

売上高については、プロポーザルプロジェクト（※）の一環として保有する販売用不動産の販売時期が下半期以降にずれたことが主な要因となり、売上総利益とともに当初予想を大きく下回りました。販管費及び一般管理費については、計画を下回る水準で推移していたものの、別途開示いたしました「債権の取立不能又は遅延のおそれ及び貸倒引当金繰入額の計上に関するお知らせ」による貸倒引当金繰入額の計上があって計画を若干上回る着地となり、この結果、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する中間純利益も大幅に当初予想を下回りました。

※プロポーザルプロジェクトは、レギュラープロジェクトとリーディングプロジェクトの中間に位置するもので、当社グループが自ら企画・提案し、場合によっては先行投資を行うプロジェクトです。受注型とは異なる収益モデルを実現いたします。

3. 2025 年 12 月期通期連結業績予想の修正について

当社グループの受注業務は大型化が進んでおり、プロジェクトが長期化する傾向にあります。当中間期に獲得又は獲得見込のプロジェクトも同様の傾向にあり、2026 年 12 月期以降のプロジェクトストック（受注が確定した又は受注獲得見込が高い案件の残高）が、本年 7 月末現時点で約 86 億円（前年同時点と比べて約 10%の増加）積み上がる一方で、当連結会計期間（2025 年 12 月期）に売上計上となるプロジェクトの積み上がりがやや弱い状況にあります。このため、通期の売上高予想を微修正いたしました。

営業利益以下の段階利益については、別途「債権の取立不能又は遅延のおそれ及び貸倒引当金繰入額の計上に関するお知らせ」として開示いたしました貸倒引当金繰入額計上の影響等を反映しております。

（2025 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 13,300	百万円 1,150	百万円 1,110	百万円 670	円 銭 66.71
今回修正予想（B）	12,897	841	801	492	49.06
増減額（B-A）	△402	△308	△308	△177	
増減率（％）	△3.0%	△26.9%	△27.8%	△26.5%	
（ご参考）前期実績 （2024 年 12 月期）	12,276	1,022	1,017	646	64.33

以 上